



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 植野 悦匡 TEL 03-5298-1670
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,237	△3.6	307	△4.9	457	34.1	352	6.2
2020年3月期第3四半期	6,468	—	323	—	340	—	332	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 419百万円 (15.2%) 2020年3月期第3四半期 364百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.66	—
2020年3月期第3四半期	29.69	—

(注) 2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	10,692	9,724	90.6	897.37
2020年3月期	11,146	9,836	88.0	876.72

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,689百万円 2020年3月期 9,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△10.4	180	△54.3	320	△40.2	250	△46.6	22.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 当社は2020年11月19日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,211,989株	2020年3月期	11,187,749株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	414,552株	2020年3月期	152株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	11,144,446株	2020年3月期3Q	11,187,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(企業結合等関係)	8
3. その他	9
最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、社会経済活動が制限される等依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化や依存症対策を目的として改正された「風適法施行規則等」の影響等により、遊技ホールの新台購入意欲が低迷するなど厳しい市場環境が続いております。また、厳しい市場環境を背景にパチンコ・パチスロ機メーカーのコスト削減意識は高く、当社製品を含む構成部材のリユース（再利用）が一層浸透するなど、当社グループを取り巻く事業環境は厳しさが増しております。さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、2020年5月に国家公安委員会において改正規則附則が改正され、当初2021年1月までに求められていた旧規則機の市場撤去期限が延長されるなど、同市場の見通しは極めて不透明な状況となっております。

かかる環境の中で当社グループは、従業員及び取引先を含めた関係者の皆さまの安全を最優先とした新型コロナウイルス感染症対策を継続したうえで、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらには新規事業と位置づけるミドルウェア、機械学習（AI）、ブロックチェーン、セキュリティの4領域における早期事業化に向けた活動に注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、組織再編やアライアンス、出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比230百万円減（同3.6%減）となる6,237百万円となりました。売上総利益は前年同四半期比167百万円増（同8.3%増）となる2,185百万円、売上総利益率は製品ミックスの変動により同3.8ポイント改善となる35.0%となっております。

販売費及び一般管理費は前年同四半期比183百万円増（同10.8%増）となる1,878百万円、販売費及び一般管理費のうち研究開発費は前年同四半期比112百万円増（同11.5%増）となる1,091百万円となっております。

以上により、営業利益は前年同四半期比15百万円減（同4.9%減）となる307百万円となりました。また、営業外収益にNEDO助成金収入114百万円を計上した結果、経常利益は前年同四半期比116百万円増（同34.1%増）となる457百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比20百万円増（同6.2%増）となる352百万円となりました。

なお、セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向けと組み込み機器向け製品から構成されており、売上高は前年同四半期比331百万円減（同5.2%減）となる6,030百万円、セグメント利益は前年同四半期比42百万円減（同3.6%減）となる1,134百万円となりました。製品別ではパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIが前年同四半期比約3万個増加となる約31万個の販売となりましたが、メモリモジュール（注2）製品等のその他製品は前年同四半期を下回る販売となっております。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された旧規則機の市場撤去期限の延長措置により、当期に見込まれていた新規機への入替需要は当期及び翌期へと分散されることとなっております。このような状況の中、第1四半期、第2四半期とパチンコ・パチスロ機向け製品の販売は減速傾向を示しておりましたが、第3四半期中ごろより新たな撤去期限に向けた入替えが進展し始めており足元の販売動向は回復の兆しを見せております。なお、同セグメントにおける四半期ごとの売上高の推移は、第1四半期2,502百万円、第2四半期1,616百万円、第3四半期1,911百万円、第3四半期末の受注残高は4,721百万円となっております。

②新規事業関連

新規事業関連はミドルウェア、機械学習（AI）、ブロックチェーン、セキュリティ領域に向けたスタートアップ事業であり、ミドルウェア、機械学習（AI）領域での売上高を中心に、売上高は前年同四半期比100百万円増（同95.5%増）となる206百万円、セグメント損失は前年同四半期比54百万円減（前年同四半期は429百万円の損失）となる374百万円となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で454百万円減少となる10,692百万円（前連結会計年度末比4.1%減）となりました。主な要因は、売掛金の増加（100百万円）、商品及び製品の増加（391百万円）に対し、現金及び預金の減少（1,163百万円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で342百万円減少となる968百万円（同26.1%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少（35百万円）、未払法人税等の減少（61百万円）、その他の流動負債の減少（268百万円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で111百万円減少となる9,724百万円（同1.1%減）となりました。主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての新株発行による資本金増加（9百万円）、資本剰余金の増加（9百万円）、利益剰余金の増加（117百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（69百万円）に対し、自己株式の取得による減少（326百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業利益以下の各利益で通期業績予想値を超過する状況となっております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言が再発令されるなど今後の市場動向に不透明感が残ること、また、第4四半期においても引き続き積極的な研究開発投資を見込んでいること等を総合的に検討した結果、現時点においては予想値の見直しを実施する状況にはないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,071	6,908
売掛金	862	962
商品及び製品	1,080	1,471
仕掛品	0	10
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	88	253
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,103	9,605
固定資産		
有形固定資産	120	99
無形固定資産		
のれん	53	44
その他	25	17
無形固定資産合計	79	62
投資その他の資産	843	924
固定資産合計	1,043	1,086
資産合計	11,146	10,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	662	626
未払法人税等	122	60
賞与引当金	—	22
その他	487	219
流動負債合計	1,272	929
固定負債		
資産除去債務	38	39
固定負債合計	38	39
負債合計	1,310	968
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,028
資本剰余金	861	871
利益剰余金	7,809	7,927
自己株式	△0	△326
株主資本合計	9,690	9,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118	187
その他の包括利益累計額合計	118	187
新株予約権	3	12
非支配株主持分	24	22
純資産合計	9,836	9,724
負債純資産合計	11,146	10,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,468	6,237
売上原価	4,449	4,051
売上総利益	2,018	2,185
販売費及び一般管理費	1,694	1,878
営業利益	323	307
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
為替差益	1	—
投資事業組合運用益	2	27
助成金収入	4	114
その他	3	3
営業外収益合計	17	150
営業外費用		
為替差損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	340	457
特別利益		
負ののれん発生益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
減損損失	—	2
子会社株式評価損	—	1
会員権評価損	5	—
その他	0	0
特別損失合計	6	4
税金等調整前四半期純利益	335	452
法人税等	8	101
四半期純利益	327	350
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	332	352

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	327	350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	69
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益合計	37	69
四半期包括利益	364	419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369	421
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間において、モーションポートレート株式会社はax株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり」に記載した仮定について重要な変更はありません。今後、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、見積りと将来の実績が異なる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	6,362	105	6,468	—	6,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,362	105	6,468	—	6,468
セグメント利益又は損失 (△)	1,176	△429	747	△423	323

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△423百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	6,030	206	6,237	—	6,237
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,030	206	6,237	—	6,237
セグメント利益又は損失 (△)	1,134	△374	759	△451	307

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

連結子会社による孫会社の吸収合併

1. 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 モーションポートレート株式会社

事業の内容 コンピュータソフトウェアの開発、販売等

②企業結合日

2020年12月1日

③企業結合の法的形式

ax株式会社を吸収合併存続会社、モーションポートレート株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

ax株式会社

⑤その他の取引の概要に関する事項

経営資源の集約により、当社グループの経営効率化を図るものであります。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

3. その他
最近における四半期毎の業績の推移
2021年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2020年4月～ 2020年6月	第2四半期 2020年7月～ 2020年9月	第3四半期 2020年10月～ 2020年12月	第4四半期 2021年1月～ 2021年3月
売上高	2,564	1,697	1,975	—
売上総利益	938	592	654	—
営業利益又は営業損失(△)	423	△153	37	—
経常利益又は経常損失(△)	425	△126	157	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	425	△127	155	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	336	△105	120	—
親会社株主に帰属する四半期純 利益又は親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	338	△106	121	—
四半期包括利益	384	△92	128	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	30.22円	△9.48円	10.95円	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,675	11,235	10,692	—
純資産	9,988	9,918	9,724	—
1株当たり純資産	890.20円	881.78円	897.37円	—

2020年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2019年4月～ 2019年6月	第2四半期 2019年7月～ 2019年9月	第3四半期 2019年10月～ 2019年12月	第4四半期 2020年1月～ 2020年3月
売上高	1,532	2,332	2,602	2,797
売上総利益	549	668	799	930
営業利益	5	79	238	69
経常利益	11	83	246	194
税金等調整前四半期純利益	5	83	245	172
四半期純利益	5	80	240	135
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	83	242	136
四半期包括利益	0	65	298	125
1株当たり四半期純利益	0.62円	7.42円	21.64円	12.15円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	9,987	10,288	10,524	11,146
純資産	9,343	9,409	9,707	9,836
1株当たり純資産	832.60円	838.68円	865.48円	876.72円